

いきものみつけ

News.
Vol.12

発行：いきものみつけファーム滋賀推進協議会
電話：090-7966-2262 FAX：0748-68-0598

編集：事務局 竜王 住所：甲賀市土山町黒川
E-mail:ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp 平成27年6月7日



甲賀の田んぼで

いきものみつけ探検隊



説明会開催しました

平成二十七年五月二十四日、甲賀市みなくち子ども森水口町北内責で、甲賀市内の親子一〇〇名程が、説明会に訪れました。これは、自然豊かな甲賀市内での生きもの調査とデータ化をめざすために、市民の方々にも調査員として参加していた

田んぼ調査の注意事項
①田んぼでの調査のため、田んぼをお借りする際、田んぼの所有者に了解を得ましょう②いつ調査をしたか、時間を記載しましょう③道路地図やスマホ等で、調査の場所を確認し、ある程度正確に記録してください④ハチや蛇がいてもじっとしてきましょう⑤小さな生き物を優しく扱きましょう。パッタは足を持つと、ちぎれるので胴体をつまみましよう⑥水の中にいた生き物を観察する時は水を張った容器に入れ

だくものです。今回は、第一回目の説明会を開催しました。自分の家の近くの田んぼでの観察調査のために、河瀬学芸員と推進協議会の井阪さんからいくつかの注意事項がありました。

ましよう⑦観察が終わったら、田んぼにかえしてあげましょう。等でした。説明を受けた後、みなくち子ども森の 体験農場に移動しました。河瀬学芸員より、生き物によって採取のしかたの違いの指導を受けました。基本は優しく採取することです。子どもたちは、田んぼの畦に並んで注意深く聞いていました。さっそく、カエルをくわえたへびに遭遇。ついつい、追っかけたくなる子どもたちでしたが、「いきものには攻撃してはダメ」の原則で指導員に止められる場面



もありました。大人たちも観察シートを持ちながら、一緒に勉強しました。

平成27年 甲賀市市民協働事業

それゆけ!いきものみつけ探検隊

【目的】子どもから大人までが、甲賀市の自然や生態系の現況を把握し、「いきもの」への親しみと、「人間といきものや自然との関係」に関心を持ち、自然やいきもの、自分を大切にする人みんなで育てていきます。

【内容】家や学校の近くの田んぼで月に1回程度、「いきものみつけ調査」をして、記録用紙に書き込み、学校がみなくち子ども森に提出します。調査用紙は、みなくち子ども森の窓口かホームページでダウンロードできます。

【調査期間】6月～8月(27年度)途中参加可能

【記録用紙提出先】甲賀市内小学校かみなくち子ども森

【成果について】提出いただいた観察シートをデータ化して、甲賀市の「いきものマップ」としてまとめます。

【参加費】無料

【主催】甲賀市(みなくち子ども森 自然館)

いきものみつけファーム滋賀推進協議会

【問い合わせ】甲賀市みなくち子ども森

電話 0748-63-6712

URL:<http://www.city.koka.lg.jp/kodomonomori/>

体験農場でみつけた いきもの



トノサマガエル



ニホンカナヘビ



- 魚類：メダカ、ドジョウ
- 両生類：ニホンアマガエル、シュレーゲルアオガエル、ニホンアカガエル、トノサマガエル<ニホンアカガエルの子ガエルとシュレーゲルの卵、トノサマガエルのおたまじゃくしが沢山>
- 爬虫類：シマヘビ、ニホンカナヘビ
- 甲殻類：アメリカザリガニ
- 昆虫類：アジアイトトンボ、モートンイトトンボ、シオヤトンボ、シオカラトンボ、ハラビロトンボ、ショウジョウトンボ、クロスジギンヤンマ、フタスジサナエ、ヒメアメンボ、ヒメガムシ、キロヒラタガムシ、コツブゲンゴロウ、チビゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、マメゲンゴロウ、マツモムシ、コマツモムシ
- <トンボのヤゴは、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、イトトンボの仲間の3種類>
- モノアラガイの仲間、サカマキガイ

シュレーゲルアオガエル



アマガエル



探検隊に期待します！甲賀市(宮)から

1つは、甲賀市の田んぼの生き物の生息状況を調べることです。調査対象とした生き物には、一部は減少した種類や増加傾向の外来種も含まれますが、多くは市内の田んぼに普通に見られるであろう種類を選びました。実は、今まで普通に見られるであろう種が、市内のどの地域に生息しているかは、くわしく判っていませんでした。数少ない専門家による調査でなく、多くの市民の皆さんと調べることで、田んぼの生き物の分布状況を把握したいという試みです。2つ目は、普段は田んぼの生きものに接する機会が少ない多くの市民の方に、家の近くの田んぼに、どんな生き物が住んでいるか！？を自分の目で見て欲しいということです。最近では、小学生の子どもだけでなく、親の世代でも、田んぼで生き物と遊んだ経験の無い人がいるようです。予想外の生き物との出会いにドキドキしたり、親しみを感じたり、時には傷つけて悲しい思いをしたり……。図鑑やテレビで見た生き物を、実際に近くで見なければ、私たちの身近な環境や生き物を大切にしたいという実感が湧くはずもありません。生き物や環境のことを知るだけでなく、そっと音を立てずに生き物に近づく方法(足の運び方)や、生き物を傷つけずに捕まえる方法(手加減の具合)、要注意の生き物や場所からの避け方など、学校では習えないことを、学ぶよい機会にもなるでしょう。この夏の皆さんの活躍に期待しています。

みなくち子どもの森自然館 学芸員 河瀬 直幹

6月初め、田の畦を歩きました。弱々しく立っていた苗が葉を広げ、太陽の光を浴びてしっかりと天に向かって伸びています。一日に何ミリ伸びるのだろうか？昼夜、休むことなく、水と肥料と炭酸ガスでブドウ糖を作り続けて成長していく苗に、不思議な力を感じます。私たち人間は、植物がデンプンを蓄える仕組みを知っていますが、まだ葉っぱ一枚作ることができません。葉っぱはすごいぞ！

そんなことを考えながら苗の根元を見ると、黒っぽく動くものがあります。オタマジャクシです。小さいものもいれば、もう前足が出ているものもいます。コシマゲンゴロウが素早く横切りました。おや？ゆっくり底を這っているものがあります。ヤゴです。そのヤゴを追いかけているのは、アカハライモリ。いきものみつけファームの田は、日夜多くの生きもののドラマが展開されていて賑やかです。

生きもので賑わう田は、多くの命を育てているのですから健康な田です。ですから、ここで獲れる米は、生きものが安全を保証してくれているので安心できる米と言えます。甲賀市内に住んでいる人の数は、92,500人ほど。しかも、全員名前がついています。しかし、田にはどれだけの生きものが棲息しているのか、誰も調べたことがありません。オタマジャクシの数だけでも何百万匹かな？これは、みんなで調べるしかない。

さあシロウトサイエンスの始まりです。それゆけ「いきものみつけ探検隊」のスタートです。

いきものみつけファーム滋賀推進協議会 環境カウンセラー 井阪尚司

推進協議会(民)から

お詫び：今回は、申し込み方法の記載が不十分でしたので、多くの方が、当日来られてご迷惑をおかけいたしました。次回の7月26日説明会は、今回参加できなかった方を中心に、受付(7月1日から)させていただきます。親向けの「いきもの私たち」ミニ講座も予定しています。これは、今回の参加保護者さんも可能ですので、お越しください。

詳しくは、7月に入ってから、みなくち子どもの森といきものみつけファーム滋賀推進協議会のホームページをチェックください。
いきものみつけファーム滋賀 URL: <http://ikimonomikke-shiga.com>